

Nougyou Nouson

いしのまきNN通信



トヤケ森から望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。今後ともよろしく申し上げます。

大川地区・大曲地区で震災後初の収穫



第27号の目次:



▲ 針岡工区 収穫の様子

平成25年9月下旬、今年度から営農を再開した石巻市 大川地区針岡工区の水田で、震災後初めての稲刈りが行われました。

大川地区針岡工区では、約13haの農地が今年度営農可能な状態まで復旧し5月に豊作・復興祈願祭と田植えが行われ、その後順調に生育し、無事に収穫となりました。

また、来年度にはさらに針岡工区の約162haが復旧し、大川地区全体で約175haの農地で作付けが行われる予定です。

また、同様に今年度から営農を再開した東松島市大曲地区の約31haでも収穫が行われました。

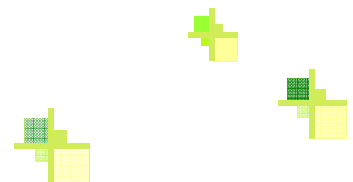
こちらも豊作・復興祈願祭と田植え作業が行われ、その後順調に生育し、無事に収穫となりました。

大曲地区は今年度から約47haで復旧工事が行われており、うち約20haが来年度に営農再開する予定です。平成26年度の営農再開面積は合わせて約51haで、大曲地区の約35%が復旧となります。



▲大曲地区 収穫の様子

平成25年度営農再開地区 震災後 初収穫の様子	1
農林水産省で復興米試食会	2
東松島市宮戸地区 営農再開実証プロジェクト 報告会	3
第2回東部管内農地災害復旧 等施工技術検討委員会	4
平成25年度石巻地域ほ場 整備事業農地集積関連事業 研修会	5
平成25年度 東部管内の復旧 工事の進捗状況	6
平成25年度 東部管内の復旧 工事の進捗状況	7
日本型直接支払(多面的機能 支払)の創設について	8



みやぎの農業農村復旧・復興展にて パネル展示と復興米の試食会が開催されました

平成25年10月22日、石巻管内の土地改良区理事長会が農林水産省を訪問し、農業農村整備・農地の復旧・復興等の状況説明や、復興米の試食提供を行いました。これは、宮城県農村振興課が10月21日から25日の期間、農林水産省 消費者の部屋で開催した、「みやぎの農業農村 復旧・復興展」に合わせて行われたものです。

「みやぎの農業農村 復旧・復興展」は、県内の農業農村に係る被災状況や、復旧状況等についてパネルの展示による解説を行ったもので、当日は、県内の農業農村整備や農地復旧・復興等の状況説明とともに、復興米の提供や見学者への試食提供が行われました。

新米試食会では、東日本大震災により津波の被災を受けた農地において、災害復旧工事が完了し、平成25年から営農を再開した石巻市の大川地区で収穫されたひとめぼれ、仙台市の六郷地区で収穫されたササニシキの提供が行われました。試食会では林芳正農水大臣や吉川副大臣、小里政務官、横山政務官が来場され、林農水大臣は復興状況のパネルを見学したのち、復興米のおにぎりを食べ比べて「おいしい」と感想を述べました。

また、石巻地域の復旧・復興等の状況説明や感謝の気持ちをお伝えするため、地元選出の国会議員や復興大臣への御礼訪問も行われました。この訪問では、更なる復興の推進に向けた意見交換も行われ、貴重な話し合いの場となりました。



▲ 林農林水産大臣と石巻地区理事長会



◀ 会場の様子



H25.10.23 河北新報 ▲

復旧・復興等状況説明の様子 ▶



東松島市 宮戸地区 営農再開実証プロジェクト 報告会

宮戸地区営農再開実証プロジェクト

宮戸地区 営農再開実証プロジェクト (案)

平成25年8月21日
宮城県東松島市農業事務所農業農村整備部 水利用課報告書

- プロジェクトの背景
 - 宮戸地区の復旧に伴い、農地の復旧、灌漑・排水設備等の整備が急務
 - 農復旧にわたる農地の塩害、地下水の塩化
 - 農業生産に即座に着手し、農業者の生活から復旧を期す
 - 宮戸地区の農業者の生活から復旧を期す
- プロジェクトの目的
 - プロジェクトの目的は、H26に水稲・畑作の作物を収穫し、モニタリングの実地による結果の抽出
 - 灌漑・排水設備の整備に伴って、農地・灌漑・排水設備の技術的知見の収集と普及、他地区への技術的応用
 - 「復旧」による「復旧」による「復旧」の検証
 - 水稲、畑作物の生育に関するモニタリング技術の検証
 - 地域農業者・JA等に対して、実証結果に対する排水コントロールとモニタリング技術の検証
- プロジェクトメンバー
 - 宮戸地区 営農再開実証プロジェクト
 - 宮戸地区 営農再開実証プロジェクト 実行委員会 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - 宮戸地区 営農再開実証プロジェクト 事務局 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - 宮戸地区 営農再開実証プロジェクト 調査員 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - 宮戸地区 営農再開実証プロジェクト 協力者 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - 宮戸地区 営農再開実証プロジェクト 関係機関 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - 宮戸地区 営農再開実証プロジェクト 関係機関 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - プロジェクトの概要
 - プロジェクトの概要 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - プロジェクトの概要 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - プロジェクトの概要 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - プロジェクトの概要 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - プロジェクトの概要 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - プロジェクトの概要 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - プロジェクトの概要 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - プロジェクトの概要 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)
 - プロジェクトの概要 (宮戸地区長、宮戸地区長、土屋、西原、水崎、藤原)

個別報告によると、畑作物のほ場では全体的に排水不良が起これ、湿害に弱いネギ、キャベツが生育不良を起こしたものと分析されました。初期段階の生育は良好、塩害についても問題ないと判断されたことからネギ、キャベツは排水対策を行うことで対策を完了できるものとされました。

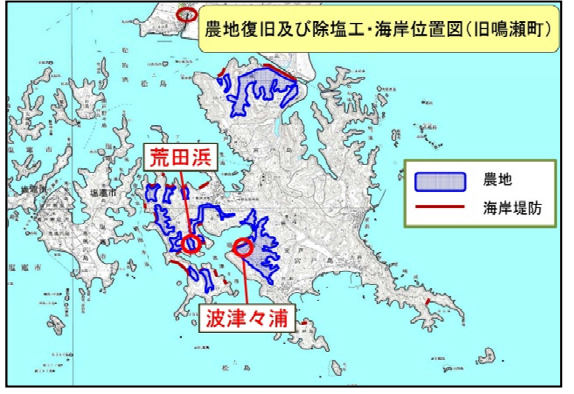
カボチャについては、定植後の生育が緩慢となり、土壌pHや施肥量による影響と分析されたため、更なる化学的な検討が必要と判断されました。

水稲でも塩害の影響はほとんど見られなかったものの、田植え時期の遅れから生育ステージが遅くなり、害虫の食害により平年作の9割ほどの収量となりました。収穫の前々日に台風があり、ほ場がひどくぬかるんだことから、機械が効率よく作業できるような排水対策等の条件整備も残された課題となりました。

平成25年11月29日、東松島市宮戸地区センターで宮戸地区営農再開実証プロジェクト報告会が開催されました。

このプロジェクトは、宮戸地区の農地（荒田浜・波津々浦）にて試験栽培を行い、地下水位や塩分濃度などが作物の生育にどういった影響を与えるのかを調査するために計画されたものです。6月4日、農地復旧・除塩工事を終えた農地に水稲、ネギ、カボチャ、キャベツを作付けして生育状況の推移を観察していました。

観測結果として、報告会では、水稲、畑作物どちらも「塩害の影響ははっきりとは現れなかったが、別の要因により生育に影響が出た」という結果報告がなされました。



H25.7.30 ネギの生育状況 ▲



▼ H25.8.30 水稲の生育状況



▲ 荒田浜 水稲の収穫状況



▲ プロジェクト報告会の様子

第2回 東部管内農地災害復旧等施工技術検討委員会の開催

宮城県東部地方振興事務所では、管内の農地・農業用施設の災害復旧工事において品質の確保、円滑な復旧・復興等を目的として「東部管内農地災害復旧等施工技術検討委員会」と、それに付属する「課題検討作業チーム」を設置しており、専門的な知識を持つ委員や農村工学研究所から派遣していただく研究員の方々から、意見や助言を受けながら復旧を推進しています。

第5回課題検討作業チーム会議

平成25年10月30日～31日、委員会の付属機関である課題検討作業チームで、5回目となる現地視察と会議が開催されました。農村工学研究所から、水田高度利用の専門知識を持つ研究員の方を派遣いただき、石巻市大川地区(長面工区)の整地・用排水計画、また、東松島市大曲地区の表土不足の解決策として検討している堆積土砂の利活用について、それぞれ助言・指導をいただきました。

第6回課題検討作業チーム会議

平成26年1月31日、委員会の付属機関である課題検討作業チームで、6回目となる現地視察と会議が開催されました。農村工学研究所の研究員の方、委員会の委員でもある宮城大学の准教授にご出席いただき、東松島市洲崎地区・東名地区の現地調査を行った後、営農再開にあたり検討中の塩害への対策である盤上げや暗渠排水、土質の改善について助言・指導をいただきました。

第2回施工技術検討委員会

平成26年3月7日、東部地方振興事務所で、第2回東部管内農地災害復旧等施工技術検討委員会が開催されました。農村工学研究所、東北大学、宮城大学の専門知識を有する方、宮城県の関係者から選出された委員7名と当事務所の復興工事を担当する職員が出席し、各復旧地区が抱える課題の解決に向けた検討が行われました。

始めに、委員会の趣旨説明と今年度開催された課題検討作業チーム会議での検討事項について報告が行われました。

その後、当事務所の各担当職員から石巻市大川地区、東松島市大曲地区、洲崎地区での復旧・復興への課題と、前回までの課題検討作業チーム会議によって得られた対策案について報告があり、それに対しての委員から更なる助言・指導を受ける形で委員会は進行しました。



▲ 委員会の趣旨説明



▲ 大曲地区 担当班からの報告



▲ 委員の方からの助言

平成25年度 石巻地域ほ場整備事業農地集積関連事業研修会の開催

平成26年3月13日、東松島市コミュニティセンターで「平成25年度 ほ場整備事業農地集積関連事業研修会」が開催されました。

この研修会は、管内のほ場整備事業実施地区を中心に、ほ場整備事業の集積目標の達成に向けて担い手の農地の集積が加速的に進められるよう東部地方振興事務所が開催したものです。

市、土地改良区、JA、県関係者など、合わせて43名の参加がありました。

始めに、東北農政局から「農地中間管理事業」について、最新の検討状況の説明がありました。2月6日に公布された「農地集積・集約化対策事業実施要綱」や、農地中間管理機構と「人・農地プラン(地域内の営農を皆で検討した計画)」の関係性についての解説がなされました。

続いて、宮城県の農村整備課から、「農業競争力強化基盤整備事業」の拡充による要件の変更について解説が行われました。大きな変更点として、担い手に「中心経営体(人・農地プランに位置付けられた担い手)」が位置づけられ、農業経営高度化促進事業(促進費)における要件が中心経営体の集積率(中心経営体集積面積/受益面積)と集約化加算(中心経営体集約化面積/中心経営体集積面積)に変更されるとの説明がありました。

石巻市及び東松島市からは、経営再開マスタープラン(人・農地プランの被災地版)の作成状況と中心経営体の位置付けについて報告があり、未作成地区のプラン作成や既存プランの更新を行っていくとのことでした。

質疑応答では、農地中間管理機構について多くの質問が上がりました。



▲ 開会のあいさつ



▲ 農政局 飛鳥係長より説明

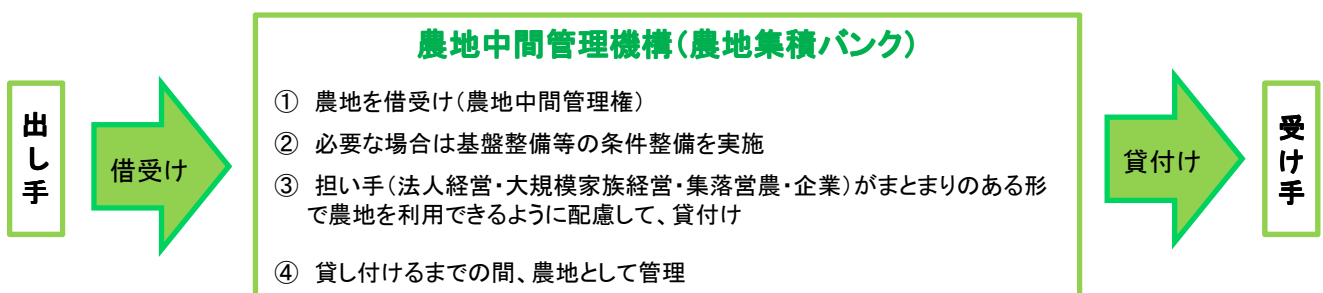


▲ 質疑応答の様子

農地中間管理機構の創設

国が公表した今般の施策の見直しにより、来年度から各県ごとに1つ農地中間管理機構が設置されることとなりました。この機構は、農地を貸す側(出し手)と農地を借りる側(受け手)の間に入って貸し借りを円滑化することにより、農地の集積を推進するためのものです。地域内で散らばっている農地(の権利)を一カ所に集めたり、機構が借りている農地を整った条件に整備してから貸すなどの機能を有しています。

人・農地プラン(経営再開マスタープラン)との連携で、より効果的に運用できるものとされています。



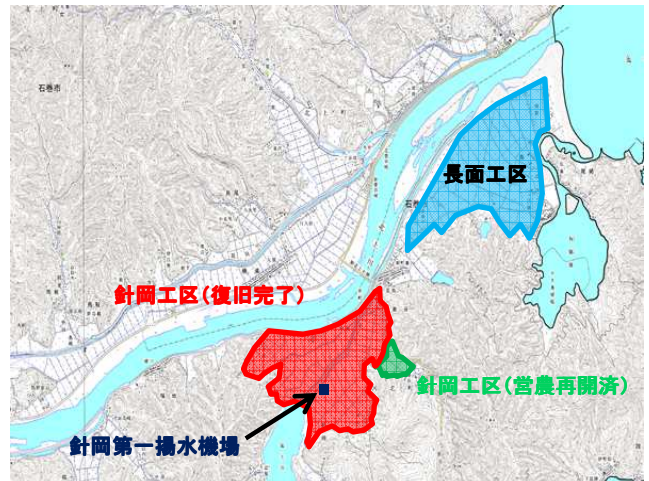
平成25年度 東部管内 復旧工事の進捗状況

平成25年度、東部管内では多くの復旧工事に着手し、完了しました。少しずつではありますが、一步一步確実に復興に向けて前進しています。

石巻市 大川地区針岡工区

大川地区内の針岡工区では、平成24年度に一部の農地復旧が完了し、用水の確保が出来た約13haの農地で営農が再開されました。そして、今年度の復旧工事にて針岡工区の農地全てと針岡第一揚水機場が復旧を完了し、平成26年度から営農を再開することが出来るようになりました。

大川地区内でもより河口に近く、多くの面積が湛水した長面工区でも現在一部の干陸化を完了し、農地の復旧作業が進められています。



▲ 被災直後の大川地区 針岡工区



▲ 平成25年9月 針岡工区 復旧工事完了



▲ 被災直後の針岡第一揚水機場



▲ 平成25年9月 復旧完了

平成25年度 東部管内 復旧工事の進捗状況

石巻市 蛇田排水機場

石巻市蛇田地区の排水を担っている蛇田排水機場も被災し、復旧工事を進めていました。
 今年度の1月、工事が完了しました。
 建屋自体に大きく変わった部分はありませんが、ポンプの改修や吐出水槽の継足しが行われています。



▲ 被災直後の蛇田排水機場



▲ 平成26年1月 復旧工事完了

東松島市 松ヶ島農地海岸堤防

東松島市 宮戸島に位置する、松ヶ島の農地を守る農地海岸堤防では津波による被害が特に大きく、一部が流出しましたが、復旧工事が進み、平成26年7月頃に完成の見込みです。
 併せて、背後の農地復旧も進み、平成26年度から営農が再開できる見込みです。



▲ 松ヶ島農地海岸堤防 被災状況



▲ 平成26年3月 復旧間近の海岸堤防

日本型直接支払(多面的機能支払)が創設されます

平成26年度から創設される日本型直接支払は ①多面的機能支払、②中山間地域等直接支払、③環境保全型農業直接支援 の3つからなっており、②と③は現行の制度が組み込まれた形で維持されます。①の多面的機能支払は、農地・水保全管理支払交付金の組み替え、拡充となっており、下図に変更点をまとめました。

農地・水保全管理支払交付金

共同活動支援交付金

- 農地、水路、農道等の基礎的な保全活動
- 点検・機能診断(軽微な補修)
- 農村環境の保全活動

(円/10a)		
	都府県	北海道
田	4,400	3,400
畑	2,800	2,800
草地	400	200

向上活動支援交付金

- 施設の長寿命化のための活動
- 農業用施設等の補修・更新作業

(円/10a)		
	都府県	北海道
田	4,400	3,400
畑	2,000	600
草地	400	400

- 高度な農地・水の保全活動
- 地域環境の保全に資する高度な保全活動

- 農地・水・環境保全組織の取組
- 農地・水・環境保全組織の設立等 40万円/組織
- 地域資源保全プランの策定 50万円/組織

多面的機能支払交付金

農地維持支払交付金

- 農地、水路、農道等の基礎的な保全活動
- 地域資源の保全に向けた体制の検討

(円/10a)		
	都府県	北海道
田	3,000	2,300
畑	2,000	1,000
草地	250	130

資源向上支払交付金

- 地域資源の質的向上を図る共同活動
- 水路・農道等の軽微な補修
- 農村環境の保全活動
- 多面的機能の増進を図る活動

(円/10a)		
	都府県	北海道
田	2,400	1,920
畑	1,440	480
草地	240	120

- 施設の長寿命化のための活動
- 農地・水保全管理支払交付金から継続 単価:変動なし
- 農地・水・環境保全組織の取組
- 農地・水保全管理交付金から継続 単価:変動なし

一日も早い災害復旧と
地域復興をめざして



宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部
(編集: 農村振興班)

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内) 489 Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>